

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第27号 平成23年9月25日

打線が繋がらず、1点差で2連勝ならず・・・

1試合目と大きく異なる内容で・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
G	0	0	3	0	0			3
F	3	1	0	0	×			4



さー、今日ダブルヘッダー2試合目のプレイボールである。9/17のダブルヘッダーとは、順番が逆になった先発投手、今日は第1試合を、チーム最年小がマウンドに上がり、この2試合目は、チーム最年長がマウンドに上がり、ゲームは始まった。ゲームは、初回から崩れていった。先頭打者を2ストライクと追い込んだが、3球目を打者に当ててしまい、死球で出塁。後続は二ゴロで打ち取ったと思った矢先、ダブルプレーを焦り、2塁へ悪送球、これで場面は無死1・2塁、そして次打者には、左前に運ばれ、1点を献上、その後犠打で進塁を許し、後続に2点タイムリーを放たれ、初回から3点を失点した。翌2回にも、2つの失策と四球、はたまたWPで1点を追加され、序盤から追いかける内容となった。しかし、3回には、先頭打者が、安打で出塁、その後2死を取られたが、3番が懸命に走り、サードの失策を呼び、この間に三塁からランナーが帰り1点、更には4番・5番の連続安打で2点を返し、その差は、1点差となった。その裏の相手攻撃では、四球と犠打と安打で1死1・3塁と失点シーンとなり、相手チームの選択はスクイズ、しかし、これに反応した投手@深沢が懸命にホームに送球し、ホームのタッチプレーでアウトを取り、その後の打者も打ち取り、何とか0点でこの回を抑えた。このゲームの最終回には、逆転となるランナーが出塁したが、打線が繋がらず、残念ながら、またもやダブルヘッダーを1勝1敗とし、2連勝を飾る事は出来なかった。やはり、打たせて取るからには、守備陣は、アウトに出来るボールは、確実にアウトカウントを積み重ねないと、内容的には、苦しい内容になる。打たせて取る投手に対し、4失策は、少し厳しい内容。また、1試合目とは異なり、打線が繋がらなかったのは、点差が点差だけに、非常に惜しい内容である。同じ日の同じ場所で、こうも内容が違うのが、野球なのかも知れない。これから、終盤に向うが、守備の変更は、参加者によって、生じるのが草野球、それに対応するには、個々人やチームで野球を勉強するしか無いですね。目的は、勝利ですから・・・